日本女子大学 経済学部経済学科 に合格された皆さんへ（入学前課題について）

合格おめでとうございます。桜の咲くころに目白のキャンパスで皆さまお会いできることを楽しみにしています。 入学前の時期を利用して、以下の課題に取り組んでいただき、その成果を下記の期日に提出していただきます。以下の説明をよく読んでから、取り組んでください。

【対象】： 総合型選抜入試合格者・指定校推薦合格者

【課題】:次の課題 2 つについて、指定された形式でレポートを作成してください。

・課題1　あなたが経済、経営、社会、政治等と関わりがあると考える新聞記事（デジタル版を含む）から、興味関心を持った記事を 1 つ取り上げ、その記事を要約してください。そのうえで、自分の感想や考えたことを書いてください。（要約と合わせて 800 字程度）

・課題 2　以下の課題図書から一冊を読み、1000 字程度で、①内容を要約するとともに、②あなたの考えを・意見をまとめてください

【課題図書】

・岩崎夏海『もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの『マネジメント』を読んだら』新潮社

組織がメンバーの力を生かしてどうすれば大切にしたい目的を達成できるのか、そのエッセンスを楽しく学べます。

・上田惇生『NHK「100分de名著」ブックス ドラッカー　マネジメント』NHK 出版

現在は Kindle 版しか出ていないようですが、世界の歴史の展開の中に、日本の多くの経営者に影響を与えてきたドラッガーの理論を位置づけて理解できおもしろいです。

・ハンス・ロスリング・ オーラ・ロスリング・アンナ・ロスリング・ロンランド （上杉 周作・ 関 美和訳）『FACTFULNESS(ファクトフルネス) 10 の思い込みを乗り越え、データを基に世界を正しく見る習慣』 日経 BP

データを見ると社会の色々なことが見えてきます。本書は、事実に基づく世界の見方を学べます。私たちしているとんでもない勘違いにはどのようなものがあるのでしょうか。本書を読めば世界の見方が変わるかもしれません。

・梶山三郎『トヨトミの野望 小説・巨大自動車企業』小学館文庫

トヨトミとありますが、豊臣秀吉の豊臣家は関係ありません。トヨタをモデルにした企業小説です。

・ 田口　一成『9 割の社会問題はビジネスで解決できる』　PHP 研究所　経済発展・効率の追求をするあまり、たくさんの人を置いてきぼりにしてきたビジネスを、今度は「誰一人取り残さない社会」をつくるために使う。ビジネスの使い方を変える。

・ Joel Best 『社会問題とは何か：なぜ、どのように生じ、なくなるのか』　筑摩書房

社会問題はなぜ、いかにして生じ、やがてなくなるのかを、六つの段階に分けて解説します。

・戸田山和久『教養の書』筑摩書房

「(大学で)勉強するってどういうこと？」を知りたい方は、ぜひ枕元に。「そんなこと考えたこともない」という方は、いつか読む日のために、ぜひお手元に。

・稲葉剛・小林美穂子・和田靜香『コロナ禍の東京を駆ける：緊急事態宣言下の困窮者支援日記』岩波書店

緊急事態宣言下の東京で、「ステイホーム」する家がない人々は、どんな境遇に追い込まれたか。それを支援する人々は、何に憤り、何を支えとしたか。今読むからこそ、意味がある本だと思います。

・栗山さやか『渋谷ギャル店員 ひとりではじめたアフリカボランティア』金の星社

ボランティアとは無縁だった元渋谷ギャル店員の著者が約60ヵ国を旅してたどりついたアフリカ・モザンビークでの、女性や子ども支援する NPO 活動について書いたノンフィクション。著者はブログでも現状を報告しており、そちらも見て欲しいす。

・小暮真久『[完全版]「20円」で世界をつなぐ仕事：想いと頭脳で稼ぐ新しい働き方』ダイヤモンド社

TABLE FOR TWO (TFT)を知っていますか？世界的な食糧の不均衡を解決する仕組みで、ソーシャルビジネスと呼ばれています。なお本学でも TFT 委員会が活動しています。

・ブレイディみかこ『ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー』新潮文庫

英国の中学校を舞台に、思春期の息子が、人種・ジェンダー・貧困・アイデンティティなど様々な悩みや困難を乗り越えていく姿を、お母さんが描いたノンフィクションです。「多様性」について考えさせられる一冊です。

・大竹文雄『競争社会の歩き方：自分の「強み」を見つけるには』中公新書

とても読みやすい経済学の本です。経済学ってどんな学問だろう？読めばみなさんの経済学に対する印象が(良い意味で)変わると思います。

・永井均『翔太と猫のインサイトの夏休み』ちくま学芸文庫

中学生と猫が、「いまが夢じゃないって証拠は？」「心があるって、どういうこと？」などの問いをめぐり対話します。当たり前だと普段は考えているような事柄に切り込んでいくような内容です。刺激や発見が得られると思います。

・永井均『子どものための哲学対話』講談社文庫

主人公に猫が、「学校なんか行かなくたっていい」「うそをついてもいい」などと語りかけてきます。普段は疑いもしないような事柄を、あらためて考えるきっかけになる本です。永井均氏の本はほかにもあるので、もし興味があれば読んでみてください。

・アーネ・リンドクウィスト ・ ヤン・ウェステル『あなた自身の社会：スウェーデンの中学教科書』新評論

スウェーデンの社会の教科書です。身近な生活の視点から社会について考えていくことができると思います。生活しているなかで感じるモヤモヤが晴れるかもしれません。日本の教科書と比べながら読むのも面白い発見がありそうです。

・井出留美『北欧でみつけたサステイナブルな暮らし方』青土社

食べ物とエコロジーの第一人者が SDGs最先端の国、北欧で見た食品ロスを防ぐためのヒントとは？地産地消ホテル、パンからアイスクリームを作る職人、食料廃棄物を燃料に走る市営バス、おしゃれな賞味期限切れスーパー…。北欧の企業のユニークな取り組みを徹底取材されてます。カラーページも多く大変読みやすいです。

【学科教員の最近の著作のご紹介】

ここでは、学科の教員が最近執筆した本をいくつか紹介いたします。課題図書ではありませんので、注意してください。

・小林富雄『食品ロスはなぜ減らないの？』岩波書店

「食品ロスって何？」「国内ではどれくらい生じているの？」「何が原因なの？」等々、食品ロスの現状に光をあて、その問題点と課題を明らかにする。どうしたら減らせるのか、解決に向けて、国内外の食糧事情やフードバンク等を始めとする取り組み、さらには地域や学校、個人でできる様々な活動を紹介する。

・伊ヶ崎大理・大森達也・佐藤茂治・内藤徹『スタートダッシュ経済学 第２版』勁草書房

本書は経済学を学び始めようとする読者の皆さんの背中を押すことを目指した入門書です。経済学部に入学し、経済学を専門的に学ぼうとする人はもちろんのこと、経済学部以外の学部で経済学を学ぼうとする人たちにも経済学の学習をスムーズに進める手助けとなるようにと執筆したテキストです。１年次の経済学入門のテキストとしても使用しています。2023年に第２版が発行されました。

◆課題作成上の注意

・パソコンを使用する場合は、「横書き」とし、35 字×28 行に指定してください。

・手書きの場合、原稿用紙を使用してください。

・課題 2 のレポートのタイトルは「『（選択した図書の題名）』を読んで」とし、適切なサブタイトルをつけてください。

・文体は「ですます調」ではなく「である調」とします。

・段落の初めは、1マス下げてください。

・体言止めは使用しないようにしてください。

◆レポート提出日

レポートの提出は 2027 年 3 月 2 日(火)＜必着＞とします。作成したレポートを印刷して、配達状況を確認できる方法（書き留め、レターパック等）により、以下の住所まで送付してください。その際、封筒表面に「経済学科入学前課題在中」と朱書きしてください。持参による提出は受け付けません。必ず期日を守ってください。

◆提出先住所

〒112-8681 東京都文京区目白台 2－8－1

日本女子大学経済学部経済学科合同研究室

2026 年 11 月

日本女子大学経済学部経済学科長

後藤　敏行